

①平成 29 年 8 月号

みなさんは、本市の公共交通にどんなものがあるかご存じですか？

船やバスが走っているのは、ほとんどの方が知っているでしょう。しかし「おれんじ号」については、知らない方が多いのではないのでしょうか。

このような「知っているようで知らない、地域の公共交通」について、今号から連載していきます。ところで、自分の好きなように移動できるからと、いつでも自動車で移動されるという方は多いと思います。

しかし、自動車を当たり前前利用するのではなく、公共交通や徒歩など、いろいろな手段を「上手に」利用していくことは、健康や環境など、いろいろな面でとても大切なことです。

また、自分たち、そして、子どもや孫の世代に、地域の移動手段



もっと知りたい！
「おれんじ号」について

地域の公共交通について

vol. 1

問企画振興課
☎ (43) 1630



として公共交通を残していくために、絶対に欠かせないのが「利用者」です。

この連載で、公共交通に興味を持たれましたら、いつもは自動車を運転される方も、たまにはバスや船などで移動してみてはいかがでしょうか。

※次回は、「おれんじ号」についてのお話です。

②平成 29 年 9 月号

みなさんは、おれんじ号をご存知ですか？

おれんじ号は、公共交通による移動手段の確保を目的として、江田島の北部と沖美町全域で、それぞれ日中の時間帯に運行しています。

バスのような乗合型の乗り物ですが、バスとは違う特徴があります。

①事前に予約があれば運行する
②どこでも乗り降りが可能
③運行曜日が決まっている

これを見て「事前予約が面倒くさそう」と思われるかもしれません。しかし、乗られる方がいることを確認した上で、バスが走らない道や時間帯に運行しているのです。

実際に利用されている方からは「路線バスよりも、好きなところで乗り降りできて便利」という声をいただいています。

使い方は簡単！

①乗りたい便を確認する（上り？下り？第何便？）
②予約の電話をする（例「上り2



もっと知りたい！
「おれんじ号」について

地域の公共交通について

vol. 2

問企画振興課
☎ (43) 1630



便で、〇〇から△△まで」。

③電話で指定された時間・場所で待つ。

たったこれだけです。しかも運賃は定額の300円（子どもや障害者の割引あり）。

運行地域にお住まいの方や、用事での地域へ行かれる方は、ぜひご利用してみてください。

※タイヤや運行区域などは、チラシや公共交通マップをご覧ください。

③平成 29 年 10 月号



もっと知りたい!
いろいろな航路がたのしめます

vol. 3

問企画振興課
☎ (43) 1630

市内には7つの航路があります。本市に住んでいても、乗ったことがない航路があるのでではないでしょうか。そんな市内の航路について、今回はご紹介します。

三高棧橋からは広島港へ、フェリーが運航されています。市内航路で唯一、似島の西側を通り、天気が良い日は夕日に鮮やかに照らされます。

高田・中町棧橋からは広島港へ、高速船が運航されています。前から見ると船首が2つに見える「双胴船」を運航しており、快適な船旅が楽しめます。

切串西沖棧橋からは広島港へ、切串吹越棧橋からは天応棧橋へ、フェリーが運航されています。三高航路とは違い、呉市や坂町などの風景を楽しむことができます。

小用棧橋からは広島港と呉中央棧橋へ、高速船とフェリー（呉航路のみ）が運航されています。ま



た、秋月棧橋からは呉中央棧橋へ、旅客船が運航されています。小用と秋月は呉を対岸に望むため、松山航路や海上自衛隊の艦艇など、さまざまな船とすれ違います。

航路が違くと、船から見える風景は全く変わります。普段乗ることがない航路を利用してみると、新たな発見があるかもしれませんよ!

④平成 29 年 11 月号



もっと知りたい!
いろんなバスや、こんなバスも

vol. 4

問企画振興課
☎ (43) 1630

市内には、いろいろなバスが走っていることにお気づきでしょうか。最も多いのが、江田島バスのカラーリングバス。白地に青いマークが入っています。今年から車椅子利用者に対応した、ノンステツプバスが2台走っています。また、ポンチョという、車体が短く可愛らしいバスも走っています（写真参照）。

それ以外では、旧能美バスのカラーリングバスが、まだ現役で走っています。そして珍しいのは、旧呉市営バスのカラーリングバス。呉市営バスは広島電鉄に移譲されているため、呉市営バスのカラーリングのままのバスは呉市内では定期運行しており、非常に貴重な存在になっています。

江田島町の北部地区（大須・幸ノ浦・切串）では、日中は予約型乗合タクシー「おれんじ号」を運行していますが、朝と夕方は「江



田島北部朝夕便」として、おれんじ号と同じ車両で運行しています。バリアフリー対応車両でステップや手すりがついており、どなたでも乗り降りしやすくなっています。

このように、市内にはいろいろな種類のバスが走っています。お気に入りの1台を見つけてみてはいかがでしょうか。

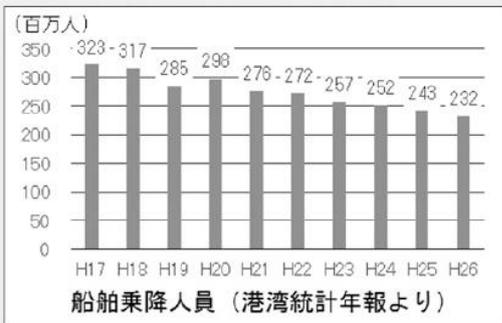
⑤平成 29 年 12 月号

昔も子どもたちは、バスや船が大好きです。そのバスや船は、これからもずっと運行を続けていくのでしょうか。

実は、地域公共交通の経営は、どこの会社も厳しいのが実情です。これは本市に限った話ではなく、一部の都市部を除き、ほぼ全国的に、経営が厳しい状況が続いています。

例えば県東部のバス会社では、昨秋から段階的に、一部路線を廃止・縮小しています。また、県北の三次市と島根県江津市を結ぶJR西日本三江線は、来年3月末をもって廃止されることが決定しています。

本市ではこの40年間で、人口が約44%も減少しています。これに加え、家用車の保有率が高くなったことなど、さまざまな要因で、バスや船の利用者が年々減少の一途をたっています。船の利用者で言えば、10年で約28%も



減っている状況です。交通事業者は公共交通の維持のため、やむを得ず減便したり、運賃を値上げしたりしていますが、なおも厳しい状況は続いています。

このため江田島市公共交通協議会では、地域公共交通形成計画を策定し、公共交通マップを配布するなどの取り組みを通じて、利用者の確保を図っています。

もっと知りたい！
じつぎのじつじつ
バスや船に乗る人が減っています

vol. 5

問企画振興課
☎ (43) 1630

⑥平成 30 年 1 月号

普段から車を運転される人や、送迎をもらう人は、バスや船がなくてもいいよと思われるかもしれません。また、乗客が少ないバスや船を見ていると、もう少し便数を減らしても良いのではないかと思われるかもしれません。

しかし、車を運転されない高齢者や未成年者などにとっては、地域公共交通は「生活の足」として必要不可欠なものです。車がなければどこにも行けないということになれば、とても生活しづらくなります。

また、市外から帰りや観光などで来訪される方、特に遠方の場合など、公共交通を使って来られている場合は、やはり公共交通がなくては移動が不便になってしまいます。

前回の記事にあるように、公共交通の利用者は年々減少しており、便数や航路の減少、運賃の値上げなど、昔に比べ不便になっていま



す。

しかし、地域の公共交通を確保・維持しなければならないことから、市では生活交通に対する助成や、デマンドタクシーの運行などの施策を実施しています。

地域の公共交通が、なくてはならないものであるということ、そして、少しずつ考えていくことは、とても大切なことなのです。

もっと知りたい！
じつぎのじつじつ
地域公共交通は必要です

vol. 6

問企画振興課
☎ (43) 1630

⑦平成 30 年 2 月号

ぜひ知りたい！
「じゅんぎょじゅんぎょ」
自分たちで、じゅんぎょ

vol. 7

問企画振興課
☎ (43) 1630

これまで、地域公共交通の利用者が減り続けていること、そして地域にとって必要不可欠なものであることを、お伝えしてきました。では、地域公共交通を維持していくために、私たちは何をしなければよいのでしょうか。

まずは、地域公共交通を利用することから始めましょう。いつもは車に乗る人も、たまにはバスや船を使ってみてください。

車での移動は確かに便利ですが、例えば酒の席の行き帰りにはバスを利用したり、広島からの帰り道疲れたと思ったら車をフェリーに乗せて帰ったり…。そんな風に、地域公共交通を「上手に」利用することが大切です。

また、バス停や桟橋まで歩くことは、健康増進にもつながりますよ！

そして、利用された上で感じたことを、周りで話し合ってみてはいかがでしょう。地域やグルー



プで話し合う場として、本市から出前講座に出向くこともできます。みんなが少しずつでも地域公共交通を利用すれば、利用者数が増え、維持していくことができます。ようになりま。公共交通マップを見て、お出かけの計画を立ててみてはいかがでしょう。

⑧平成 30 年 3 月号

ぜひ知りたい！
「じゅんぎょじゅんぎょ」
公共交通の利用が、ぜひ便利に！

vol. 7

問企画振興課
☎ (43) 1630

今回は、市内の公共交通機関を、より便利に利用できるように、市の取り組みについてご紹介します。まずは「公共交通マップ」です。

これまでは各事業者が発行する時刻表しかありませんでしたが、これを1冊にまとめ、バスの停留所や、おれんじ号の利用方法など、さまざまな情報を掲載しました。バスと船の乗り継ぎ情報も掲載していますので、ぜひ活用ください。

次は「BUS-iT(バスイット)」です。これは、バスやおれんじ号の、おおよその到着時刻が、スマートフォンなどで確認できるサービスです。バス停で待っている間、バスがいつ来るのか不安になるときなど、ご利用ください。

ダイヤを素早く検索したいときは「江田島市路線検索」のサイトをご利用ください。パソコンやスマートフォンで、起点・終点・時間などを入力すれば、乗り継ぎも

含めたダイヤ・運賃を表示してくれます。バスと船の乗り継ぎまで検索してくれるのは、このサイトのみです。

これからも、公共交通を利用しやすい仕組みを考えていきます。皆さんもぜひ、これらをうまく活用して、公共交通を積極的に利用してください！

